

大雨と雪どけに十分注意！

雨の朝、ツルツル路面に注意

運行危険時は、『運行中止』

安全な場所に退避 スリップ事故回避

2018年03月08日 13時11分

北海道付近を低気圧が通過し南から暖かく湿った空気が流れ込むため、道内は8日夜から9日にかけて太平洋側を中心に断続的に激しい雨が降るおそれがあります。

8日夕方から気温も上がり、雪どけも急速に進む見込みで、気象台は、大雨や雪どけによる低い土地の浸水や土砂災害などに十分注意するよう呼びかけています。

道内は太平洋側を中心に今夜遅くから断続的に激しい雨が降り大雨となるおそれがあります

9日正午までの24時間に降る雨の量は、いずれも多いところで、太平洋側西部で150ミリ、日本海側南部と太平洋側東部で120ミリ、日本海側北部で80ミリ、オホーツク海側で40ミリと予想され、その後も雨の量は増える見込みです。

さらに、この低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込むため、道内は9日にかけて気温が上がり、9日は最高気温が4月下旬並みまで上がるところもある見込みです。

気象台は大雨や雪どけによる低い土地の浸水や道路の冠水、土砂災害、河川の増水、雪崩、それに農業施設などの倒壊に十分注意するよう呼びかけています。

9日、太平洋側では海上で非常に強い風が吹き、波の高さも6メートルとうねりを伴って大しけとなる見込みで気象台は高波にも警戒するよう呼びかけています。